

第7回常任理事会報告

日 時 平成21年11月13日（金）午後2時～午後4時
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人、井出吉信
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、福田仁一、江里口 彰、
上西秀則、伊藤公一、栗原英見、荒木孝二
欠席者 <常任理事> 山崎芳昭、寺下正道、後藤滋巳、佐々木啓一

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より挨拶が行われた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

□一般会務報告（平成21年10月19日～同11月12日）

□第6回常任理事会報告（平成21年10月19日開催）

2) 会計現況報告

江里口常任理事より、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□平成 21 年度学会会計収支決算書（平成 21 年 4 月 1 日～同 10 月 31 日）

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶平成 21 年度日本歯科医学会プロジェクト研究費について

佐藤常任理事より、標記研究費の採択研究課題について、資料に基づき報告。今後、各研究代表者との打合せをテーマごとに開催する旨補足説明。

なお、採択研究課題は以下の通り。

【テーマ A 口腔乾燥の歯科における診療体系構築に関するプロジェクト研究】

- ・高齢者の口腔乾燥と長期服用薬剤との臨床的関連およびその対応

研究代表者：松野智宣/日本歯科大学講師

- ・障害者および要介護者における口腔乾燥症の診断と治療に関する研究

研究代表者：柿木保明/九州歯科大学教授

- ・口腔乾燥の評価ならびにガイドラインの検討

研究代表者：森戸光彦/鶴見大学教授

【テーマ B 歯科用 CT を用いた歯科画像診断の新たな展開に関するプロジェクト研究】

- ・歯科診療における歯科用コーンビーム CT の基礎的・臨床的評価

研究代表者：岡野友宏/昭和大学教授

- ・歯内療法領域における歯科用 CT を用いた画像診断に関するクリニカルパスの構築

研究代表者：中村 洋/愛知学院大学教授

【テーマ C 軟質材料を応用した歯科臨床の新たな展開に関するプロジェクト研究】

- ・義歯安定剤を用いた補綴歯科治療および義歯管理のガイドラインに関するプロジェクト研究

研究代表者：村田比呂司/長崎大学大学院教授

- ・歯科用軟質材料の臨床的使用期間を設定するための基礎的研究

研究代表者：蟹江隆人/鹿児島大学大学院助教

▶歯科診療ガイドラインライブラリーについて

佐藤常任理事より、本学会の歯科診療ガイドラインライブラリーへ掲載申請（第 1 回募集）のあった計 10 ガイドラインについて、資料に基づき報告。

▶諸外国における歯科医療技術等の現状について

住友副会長より、標記について、日歯から諸外国において保険診療または保険外診療の何れかの場合においても、歯科医療として行った場合に費用の請求ができるものの検索依頼があったことを受け、本学会より資料記載の医療技術や医薬品、材料等を回答した旨資料に基づき報告。

▶「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書骨子案」に対する意見募集について

江里口常任理事より、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室で標記に対する意見募集を行っていることについて、本学会専門分科会及び認定分科会に対し情報を提供した旨資料に基づき報告。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

▶広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について

江藤会長より、厚生労働省医政局総務課長より通知のあった標記について、広告可能な資格名として新たに「心療内科専門医」及び「一般病院連携精神医学専門医」が加わった旨資料に基づき報告。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

江藤会長より、①6月3日、韓国歯科医学会と交流協定を締結し、翌4日に開催された Korean academy of dental science において講演したこと、②10月14日、中華口腔医学会会長と日中歯科医学会大会の次回大会について会談したこと、③10月17日、モンゴル歯科医学会学術大会に出席したこと等を報告。

(6) 歯科医学未来構想の構築

江藤会長より、学術研究委員会の下に歯科医学研究所の設置や歯科医学未来構想について検討するワーキンググループを立ち上げる予定である旨説明。

4) 会長報告

江藤会長より、日歯理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告。

5) その他

▶会員管理システムに関わる要望書について

江藤会長より、日本臨床歯周病学会より本学会に対し、会員管理システムに関わる要望書の提出があった旨資料に基づき報告後、意見交換が行われ、会員管理システムの立ち上げや運用に伴う予算上の問題や、分科会ごとで取り組み状況が異なっている現状を踏まえ、今後、本学会内に広報委員会を設置し、各分科会の取り組み状況や日歯の会員管理体制との連携等について調査していく予定を確認した。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶難解な歯科用語について

黒崎総務理事より、標記について、保険診療における7つの歯科用語の改正を厚生労働省保健局局長宛に提案したいとして資料に基づき諮られ、協議の結果、承認された。

▶インプラント義歯及び顎関節症の補綴学的治療にかかわる治療指針について

黒崎総務理事より、標記について、先進医療技術に関する検討会の協議結果に基づき、①顎関節症の補綴学的治療の指針については、策定する状況にないと判断すること、②インプラント義歯の指針については、現在内容精

査中の指針が出来上がり次第、厚生労働省へ提示することについて、資料に基づき諮られ、協議の結果、承認された。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

▶歯科医師の専門性に関する資格及び資格認定団体(日本口腔インプラント学会)に対する回答について

江藤会長より、標記について、厚生労働省医政局総務課に対し、社団法人日本口腔インプラント学会を資格認定団体として、また口腔インプラント専門医を資格名として妥当である旨回答することについて、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

(4) 学会機構の改革

▶公益法人改革について

江藤会長より、標記について、平成22年1月22日開催予定の第83回評議員会において協議題とし、平成23年3月までに各分科会の意見を集約したい旨確認がなされた。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

黒崎総務理事より、標記について、顕彰審議会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として答申内容を了承し、次回理事会で引き続き協議することとした。

(2) 平成 21 年度総合的研究推進費課題について

佐藤常任理事より、標記について、第 2 回学術研究委員会の審議結果に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

①材料のナノサイジングに基づく生体反応とその応用

[代表者] 亘理 文夫 (北海道大学大学院歯学研究科)

②患者と 3 次元立体画像を重ね合わせる拡張現実感表示技術の歯科への応用

[代表者] 末永 英之 (東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科)

③歯科用 OCT 画像診断機器の開発と臨床応用に関する研究

[代表者] 角 保徳 (国立長寿医療センター 先端医療部口腔機能再建科)

④口腔がん・口腔粘膜疾患検診の普及とその標準化の構築

[代表者] 片倉 朗 (東京歯科大学 口腔健康臨床科学講座 口腔外科学分野)

(3) 第 26 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」について

佐藤常任理事より、第 2 回学術研究委員会の審議結果に基づき、標記「集い」の企画及び日程 (平成 22 年 1 月 9 日開催) について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

なお、採択された演題は、応募のあった 21 題の中から、厳正なる審査により選考された 10 題である旨補足説明がなされた。

(4) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

3) その他

特になし。

5. 閉 会

住友副会長より、閉会の辞。